資料 67-2

今後の自動車排出ガス低減対策のあり方について

（第十五次報告）

令　和　６　年　月　日

中央環境審議会大気・騒音振動部会

自動車排出ガス専門委員会

今後の自動車排出ガス低減対策のあり方について（第十五次報告）

＜骨子案＞

１．はじめに

１．１　我が国の自動車排出ガス規制及び中央環境審議会における審議の経緯

・我が国の自動車排出ガス規制の経緯について記載

１．２　自動車排出ガス低減対策の検討にあたっての視点

・２．３．の事項についての検討の必要性等

２．微小粒子状物質等に関する対策

２．１　微小粒子状物質に関する大気環境の状況

・環境基準達成状況等

２．２　国内における粒子状物質規制の経緯

・国内の PM 規制の経緯

２．３　欧州における粒子状物質規制の経緯

・欧州の PM 規制の経緯

２．４　自動車からの PM 排出に関する技術的な背景

・DPF の原理等

３．特殊自動車の排出ガス低減対策

３．１　特殊自動車の測定サイクルについて

・ディーゼル特殊自動車及びガソリン特殊自動車の測定サイクルについて

３．２　欧米におけるディーゼル特殊自動車の過渡モード等について

３．３　PM 測定に関する検討

３．４　排出ガス許容限度目標値及び適用時期

４．今後の自動車排出ガス低減対策の考え方

４．１　今後の検討課題

４．１．１　微小粒子状物質等に関する対策

・10nm 以上の粒子について国際基準の見直し活動に積極的に参画・貢献

４．１．２　ブレーキ粉塵及びタイヤ粉塵に関する対策

４．１．３　燃料蒸発ガス低減対策

４．１．４　アイドリング規制の見直し

・四輪車の CO 規制値の強化

４．１．５　路上走行検査等の導入

・欧州では対象となっている PN の導入について検討。

４．１．６　低温試験及び高温試験の導入

４．１．７　ガソリン・LPG 重量車の排出ガス低減対策

４．１．８　特殊自動車の排出ガス低減対策

・定格出力が 19kW 未満及び 560kW 以上の特殊自動車

４．１．９　バイオディーゼル燃料による排出ガスへの影響

４．１．１０　その他の未規制物質対策

４．２　自動車排出ガス低減対策における国際基準調和の主導

４．３　関連の諸施策等

４．３．１　総合的な自動車排出ガス対策の推進

（１）自動車 NOx・PM 法に基づく施策等

（２）適切な点検整備の励行、自動車検査による対策

（３）エコドライブの推進

４．３．２　環境性能に優れた自動車の普及促進

４．３．３　大気環境の状況把握と改善効果の予測

４．３．４　対策に係る費用及び効果の継続的な把握

４．３．５　自動車排出ガス低減対策に係る研究体制の整備及び人材確保

４．４　自動車を取り巻く環境の変化に応じた取組